

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	3丁目あい・ランド		
○保護者評価実施期間	2025年1月17日 ～ 2025年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16世帯	(回答者数) 15世帯
○従業者評価実施期間	2025年1月17日 ～ 2025年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生を対象とした放課後等デイサービスなので、高校卒業後の将来を見据えた支援を意識して取り組んでいる。	将来、社会に出て様々な経験をするを見据え、制作や運動などその子の少し苦手なことも、その子なりのペースで挑戦することを大切にしている。結果よりも、頑張った姿勢や挑戦して取り組んだことを褒めて「がんばった」「できた!」と自信を持ってもらえるようにしている。	出来るが増えたことで「嬉しい」「楽しい」と子ども達・保護者の方に思ってもらえるよう、様々な活動を取り入れていきたい。
2	保護者支援に力を入れており、月に一度保護者交流会を行っている。	保護者交流会は当事業所だけでなく、法人の放課後デイサービス3ヶ所(3丁目あい・ランド、あいランドクラブ、あいランド)合同で行い、より多くの保護者の方々が交流できる機会を設けている。	ニーズに応じて、交流会の機会を増やしていきたい
3	民家を使用しているため、室内での過ごし方を学ぶ機会となっており、子ども達が落ち着いて過ごせている。	・民家なので部屋で走り回ったり、飛び回ったりなど出来ない分、「お部屋では静かに過ごそうね」と声を掛けている。 ・子ども達も部屋の中で本を読んだり、玩具で遊んだり絵を描いたりと各々好きな過ごし方を見つけて落ち着いている。 ・公園に出掛けて屋外で身体を動かす機会を設けている。	引き続き部屋の中での過ごし方と屋外での過ごし方についてメリハリをもてるように環境構成に気を配って支援していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流会を設けてはいるが、きょうだい児の交流の機会は設けていない。	近年、コロナ渦を理由に交流会の機会が減ってしまった。	きょうだい児の交流のニーズを把握し、保護者だけでなく、家族全員で気軽に参加できる家族会などを検討していきたい。
2	避難訓練を行っているが、今年度の評価表では、「わからない」との回答があったため、保護者の方に周知できていない。	利用日数が少ない児童は参加できていない場合がある。	避難訓練を増やし、年間を通してなるべく全児童が参加できるよう機会を設けて、保護者の方にも周知していきたい。
3	同世代の地域の子どもの交流が少ない(必要としない声も多い。)	中高生を対象の放課後デイサービスなので、地域の中高生と関わる機会が少ない。	地域の子どもの交流が少ない分、法人内の他事業所(あいランドクラブ、あいランド)と定期的に交流を行っている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 3丁目あい・ランド

公表日 2027年2月13日

利用児童数 2024年1月31日 16

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					引き続き活動スペースの確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					今後も引き続き利用児に応じて必要な職員の確保・配置をし保護者の方への説明も心がけます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%			6%		引き続き可能な範囲内で環境整備に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					引き続き清潔な空間づくりに努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					引き続き努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					引き続き努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					個別支援計画の作成は児童発達支援管理責任者が1人で作成するのではなく、現場の職員のチームで相談しながら作成するようにしています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					個別支援計画は、面談で保護者の方から聞き取りを行い、保護者の方と子どものニーズを大切にしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					定期的に個別支援計画を振り返り、計画に沿った支援が出来ているか見直しをしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					放課後等の時間がより豊かになるよう、職員間でアイデアを出し合い、様々な活動を取り入れるようにしています。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	26%	20%		46%	これは高校生くらになると難しいかもしれませんが、小学生ならわかります。	頂いたご意見の通り、当事業所は中高生の放課後等デイサービスなので、地域の中高生との交流は時間も合わないのが難しい状況です。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					引き続き努めます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					引き続き努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	82%	12%		6%		研修や勉強会の案内などあればLINEやチラシを配布しています。引き続き案内の配布や情報共有をしていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					引き続き、様々なツールをつかい情報共有し・理解の徹底をしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					引き続き、相談に対して適切な対応に努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					引き続き努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	82%	12%		6%	きょうだい児の交流があれば嬉しいです	家族の方を呼べる交流会等を二ツズを見ながら検討していきたい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					引き続き努めます。
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					連絡ノートや送迎時の挨拶、電話、LINEなど必要に応じて様々なツールを使い分けて連絡している。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					引き続き努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					引き続き努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%			6%		策定しており、訓練も実施している。保護者の方にも周知していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%			6%		引き続き避難訓練を実施し、保護者の方にも周知していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					引き続き努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					引き続き努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					今後も、それぞれの子どもたちが、自分らしくいられ、安心できる場所としての環境づくりを心がけます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					楽しんでもらえるプログラム、環境づくりに努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					ひとりひとりに「今、必要な支援」ができるよう、今後も保護者の方と連携をとりながら、取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		3丁目あい・ランド		公表日 2027 年 2 月 17 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		指定基準に基づき定員に応じたスペースを確保しています。	より快適に過ごせるよう整理整頓を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	店員10名に対して4名は配置している。	利用人数の変更に合わせて調整しているが、その際全従業員への周知を徹底する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		賃貸物件の為、改築は難しい。情報伝達の配慮は行っている。	玩具や文房具など置き場所をより分かりやすく工夫したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	子どもが降後は必ず清掃している。	教材や備品類が多く、棚の整理ができていない時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	個室はないがカーテンで対応している。	状況に応じてスタッフルームの使用やカーテンでしきるなど個別に対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	児童来所前後の打ち合わせを行っている。	打ち合わせは行っているが、目標設定や振り返りが出来ない時がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年に一度デイサービス評価表の提出をお願いしている。	スタッフ間で共有し課題や改善点を検討していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		意見交換等しやすい様風通しをよくしている。	よりよい支援が出来るように引き続き取り組んでいきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者による外部評価は実施していないが、連絡会に参加し、情報共有することで業務改善を行っている。	数年に一度神戸市の実施指導が行われるが、不定期なので近年行われていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	事業所内で適宜実施しています。また、外部研修参加の際には、事業所内でシェアをしています。	研修を受講する機会はあるが、日々の人員確保が優先されるため、研修に参加できることが少ない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページに公表している。	継続していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者や本人からニーズの聞き取りをしている。また、その聞き取りをもとに計画書を作成している。	職員のスキルアップのための研修を実施したい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画を立てるためのモニタリングの際には、職員会議を行い、チームで支援の方向性・方針を検討している。	非常勤職員とも日頃から意見交換を行っているが、計画作成の会議に出席することが少ない。今後検討したい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画を作成後は、スタッフが目を通す場所に個別支援計画を確認するようメモを貼り、口頭でも伝える。	半年毎に一度個別支援計画を作成し、その都度職員間で共有するようにしているが、勤務日数の少ないパート職員に伝わっていないことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		半年に一度のモニタリングだけでなく、日々支援計画記録を残して行動観察している。	常日頃から子どもの様子について情報提供を行っているが、今後も務めていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		設定している。	よりよい支援計画作成のための研修を実施したい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		スタッフ間で話し合い、月間プログラムを毎月作成している。	これまでにない活動の提案もしていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		職員間でアイデアを出し合い、様々な活動プログラムを企画している。	今後も務めていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画書を作成している。	同じ活動でも、子どもの特性に応じて目標設定を変えている。

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		開始前の申し送りにて、その日の支援や活動内容の確認をし、児童の特性や近況をふまえた上で、活動内容の修正をしている。	前日に休暇をとっていたスタッフも、子ども達の様子を口頭と記録を通して伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		当日の気になった事や送迎時の保護者や学校からの申し送りなど、その日のうちにスタッフ間で情報共有している。	今後も務めていきたい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		定期的な保護者面談、モニタリング、日々の職員間の話し合いを行っている。	今後も務めていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	面談時に行い、問い合わせがあればその都度説明している。	半年に一度、保護者との面談も必ず行っているが、勤務日数の少ないパート職員に伝わっていないかった。全従業員への周知を徹底していく。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1	全従業員へ周知するために、「4つの基本活動」について書いた紙を事務所の壁の目につきやすい場所に貼る。	「4つの基本活動」は取り入れているが、全従業員に周知していきたい。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		日々の活動の中で工夫している。例えばクッキングでは、子どもに料理の具材を選んでもらう等、子どもの意思を尊重し、自己決定する喜びや楽しさを経験してもらえる機会を作っている。	今後も務めていきたい。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		常勤職員が対応し、参画するときにも誰が参画するのか、職員間で話し合う。	今後も務めていきたい。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		提携している医療機関がある。障害福祉、保育、教育等の関係機関とも外部の会議を通して関係を築いている。	今後も務めていきたい。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	都度状況に応じて行っている。	学校からの引継ぎ時間が十分でないことがある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	法人内の事業所を利用していた子どもに関しては必要に応じて情報提供を依頼している	今後も務めていきたい	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		依頼があれば行う。	今後も務めていきたい	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	都度状況に応じて行っている。	外部との研修は必要に応じて取り組んでいる。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	中高生対象の放課後デイサービスなので、地域の同世代の子ども達との交流は時間も合わず、難しい。しかし、法人内の他事業との交流は定期的に行っている。	今後も務めていきたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		毎月参加している。	今後も務めていきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎日の連絡ノートや送迎時の会話を大切にしている。また、必要に応じて電話やLINEで連絡する機会も設けている。	今後も務めていきたい。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	研修や勉強会の案内等あればLINEやチラシを配布し、情報提供を行っている。	今後も務めていきたい。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約書と重要事項説明書を示しながら説明している。	今後も務めていきたい。
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		半年に一度の面談で意向を確認しているが、それだけでなく、日々支援する中で必要に応じて子ども本人や保護者の方と相談しながら取り決めている。	今後も務めていきたい。
		38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		面談でその都度説明している。	今後も務めていきたい。
		39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		適宜対応している。	今後も務めていきたい。
		40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		月に一度のママ友会の開催を通して、保護者同士のつながりが出来るように支援している。	きょうだい同士で交流する機会は設けていない。ニーズに応じて検討していきたい。
		41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情を受けた際に対応できるよう体制を整えている。	今後も務めていきたい。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		法人で通信の発行をしている。また、R7年1月より本所のInstagramを開設。情報発信の頻度を上げていく。	投稿の頻度を上げていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	鍵のかかる棚での管理を徹底している。	鍵付きの棚での管理を徹底しているが、来客時や見学者の受け入れの際も施錠を徹底する
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に合わせたツールを用いている。	LINEや連絡帳など個々のニーズに応じて使い分けている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		今年度のクリスマス会に地域の方と畑のボランティアをしてくださっている方に来ていただいた。	今後も務めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		契約時に説明し、職員用のマニュアルも作成している。	今後も務めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に避難訓練や防災学習を行っている。	常勤職員だけでなく非常勤職員も参加して取り組んでいる。今後も継続していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		サービス提供時間内に服薬を行う子供はいないが酔い止めが必要な場合がある。	契約時に子どもの状況について尋ねている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在該当児童がいない。	今後食物アレルギーがある子どもが在籍する場合は医師の指示所に基づく対応をしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	データのマニュアルだけでは確認できていない従業員もいたので、紙ベースでも残しておく。	安全計画を作成し、各研修や訓練も行っているが、それが安全計画に基づくものということを知らない従業員もいたので伝えていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	災害時の避難場所、避難経路等は契約時に保護者の肩にお伝えしている。また、避難訓練も定期的に活動の中で行い、保護者の方に連絡帳を通して伝えている。	上記と同様である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事例があった場合は記録に残し、スタッフ全員で情報共有し、再発防止に取り組んでいる。	今後も務めていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に1度虐待防止研修と身体拘束防止に努める研修を行っている。	今後も務めていきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		虐待防止委員会を立て、毎月事例を報告。やむを得ず身体拘束を行う場合は必ず現場職員で情報共有し、保護者の方に同意書をもらっている。	今後も務めていきたい。